

NO！リニア

No. 103

2017年12月21日

JR東海労働組合

リニア関連工事で土砂崩壊 「本工事もこうなる」前触れなのか？

長野県中川村のリニア関連の道路工事の現場で、土砂崩壊が発生したことが報道で明らかになりました。この工事は、リニア中央新幹線の南アルプストンネル工事で発生する残土を運搬する際、ダンプが通行できるようにするための道路拡張・トンネル工事です。

中川村、大鹿村一帯の山は、破碎帯でもろい地盤です。当然、リニア本線の地盤も同様です。今回の工事で土砂崩壊が発生したことは、リニア本工事においても、同じ事故が発生するリスクが非常に高いことを示しています。



今回の関連工事で発生した残土の仮置き場

今回の事故では幸い死者はいませんでした。死者が出てからでは遅いのです。本線工事の規模は運搬道路の規模とは比較にならないくらい大きく、難工事です。「リニア本線工事をやれば、もっとひどい土砂崩壊が発生するぞ」という自然の警告かも知れません。

会社は直ちにリニア中央新幹線建設を止めろ！